

NPO法人ちば地域再生リサーチ

～ ニュータウンと周辺部の
住み替え・住まいの流通・運用に関する相談窓口～

【事業実施の背景】

- 海浜ニュータウンは、共同住宅のマンションとUR等の公的賃貸住宅、戸建住宅の複合団地で形成された、人口11万人の大規模なニュータウン
- ニュータウン人口の減少、少子化、住民の高齢化、地域の商業施設の減少等により、空き家が増加する一方、売買の流通が停滞

【事業の特徴】

- 団地再生に取り組むNPO法人を中心に、民間事業者・専門家、自治会・マンション管理組合などの地域住民による団体が連携
- 個人住宅の賃貸流通を促進するため、DIY型賃貸借を提案

総合相談窓口

■ 相談窓口の設置場所

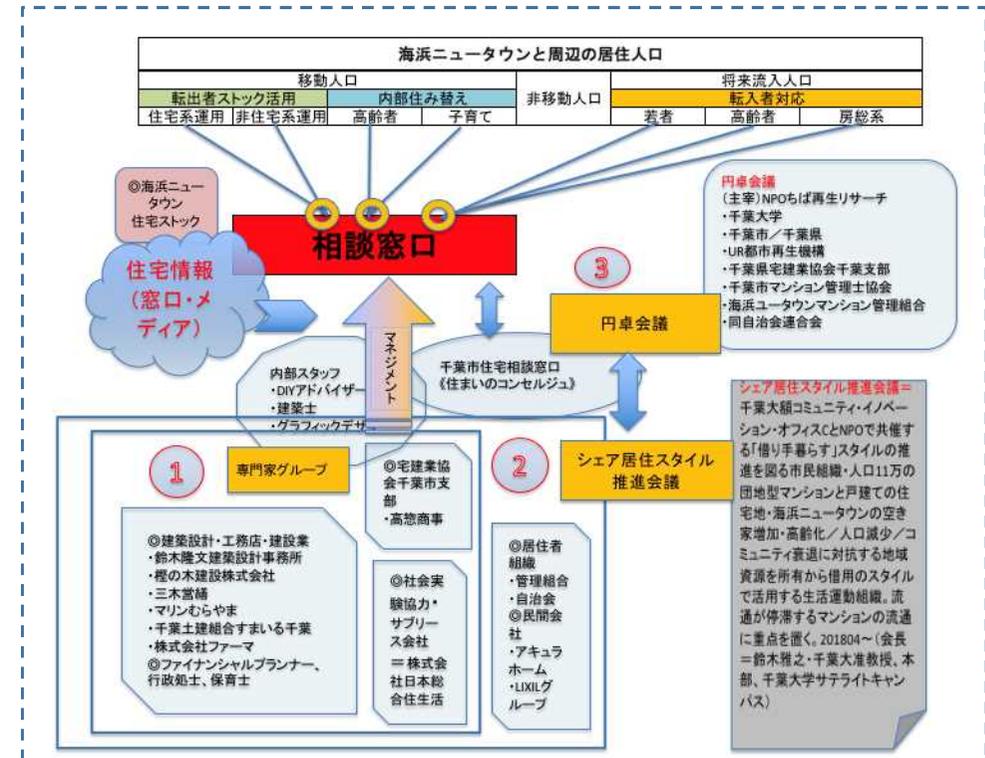
NPO法人ちば地域再生リサーチ 事務所

■ 相談対象者

- ニュータウンの空き家住宅の所有者
- ニュータウンへの転入を検討している世帯 等

■ 特徴

- 空き家住宅を活用するため、家財の整理・処分の方法、改修費用を軽減するDIY型賃貸借契約、リフォームローンなど、様々な情報を提供
- DIY可能な物件として賃貸住宅市場への情報提供するとともに、借り手の探索・マッチングなどを支援



その他のモデル的な取組

- 住宅以外の他用途（商業施設、福祉施設など）での活用を実現するため、住宅所有者と活用希望者のマッチング、地域住民への説明会、住宅改修の支援と、モデル事例の情報発信

平成30年度実績

■ 総合相談窓口

対象地域内に所在する個人住宅等の所有者からの相談	22件
対象地域内への住替又は移住検討者からの相談	10件
地域内で事業を実施しようとする利活用検討者からの相談	7件
その他	22件

■ セミナー、シンポジウム、住戸見学会および個別相談会(計8回) 参加者:163名

事業の成果

- セミナーの開催、空き家改修の事例紹介により、地域住民に住宅流通の意識が浸透
- 少数ではあるが、地域住民のDIY型賃貸借への理解が進展

今後の課題

- 住宅所有者の改修経費のローン借用の普及
- 改修デザイン料による法人収入の安定化、事業の持続性の確保

今後の事業展開

- 今後も、セミナーの開催、空き家改修の事例紹介による情報発信をすすめ、既存住宅の流通と多世代にわたる持続的な利活用の促進を図る